

令和6年度 前期学校評価（結果）についてお知らせ

学校教育目標「たくましく挑戦する子」重点目標 ～言葉でつながろう～ の充実に向けて

10月を迎え、ようやく秋らしくなってきました。19日に実施される『浮島スポーツフェスティバル』に向けて、日々練習する姿に気合いが感じられる子供たちです。夏休み前には、前期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。後期を迎えるにあたり、前期の学校評価の報告と共に、後期に向けての目標を保護者の皆様とも共通理解できたらと思います。

東小学校グランドデザインより



【3年生須津小と社会科見学】

☆学校の目標☆（ ）の値は学校目標値

- 学校が楽しい…95.9%(100%)
- 自分にはよいところがある 83.6%(100%)
- 進んで表現しようとする…87.8% (98%)
- 読書をよくする…85.7% (94%)
- 家庭学習をよくする…83.6% (99%)

重点としている5つについては、学校の目標数値まであと一歩という結果となりました。この数値が後期に上昇が見られるよう教育活動を見直し、子供たちと共に進んでいきたいと思ひます。

★アンケートの結果からわかること★

(1) 成果
(児童)

- ・友達と協力したり遊んだりしていますか。(98%)
- ・係の仕事や掃除をしっかりとやっていますか。(98%)
- ・授業で学ぶことや友達と学ぶことは楽しいですか。(93.9%)

(保護者)

- ・お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。(95.1%)
- ・東小学校は、安心して子供を任せられる学校ですか。(100%)
- ・コミュニティスクール・ボランティア(地域・ボランティア)は、子供の学びに役立っていますか。(100%)

高い評価をいただき、大変嬉しく思います。校内の教育活動についてお子さんを通して理解をいただき、何かありました際には学校に声を寄せてくださるおかげで、家庭と学校とが協働で教育活動にあたる事ができていることの成果だと思います。東小では、『地域とともにある学校』を目指し、教職員だけでなく、CSD、学校運営協議会委員の皆様、地域の皆様にお力を借りながら、多くの学び、学校行事を行っています。

- ・小小交流(須津小との交流)は、お子さんたちにとってよい取組だと思いますか。(97.5%)

小中一貫教育が本格実施の今年度、教職員は4月にリモートで須津小と1年間の交流計画を立てました。6月には、全校で最初の交流を行い、その後も5年生はみどりの学校、3、4年生は社会科見学を須津小と行いました。1、2年生は今後、生活科の学習で校外学習に出かける予定です。6年生は古墳見学に出かける予定でしたが、天候不良のため延期が重なり、別実施となりました。しかし、1、2月には中学入学を前に、交流授業を行う予定です。各学年交流前には当日に向けて、事前学習において準備を行っています。普段とは集団の規模が大きく変わるので「楽しみ」ばかりではなく、「どきどき」「心配・不安」を抱えるお子さんもいます。不安にも寄り添いながら、いずれ共に学ぶ仲間となる須津小のお子さんとうりある交流ができるよう、今後も支援していきたいと思ひます。12月には須津中において、千人集会も予定されています。須津小中、そして東小、千人近い人数での体験は初めてかもしれませんが、東小に自信と誇りをもって交流できるよう支援していきます。

(2) 課題

(児童)

- ・授業では、自分で考えたり自分から取り組んだりしていますか。(87.8%)
- ・自分は、何か困ったときに、自分で考えて行動しようとしていますか。(87.8%)

(保護者)

- ・お子さんは、家で勉強や宿題をよくしていますか。(73.2%)

年度当初、「家庭学習のすすめ」を配付しました。それを参考に家庭学習に取り組んでいただいているかと思ひます。家庭学習のねらいは、学習の習慣化、そして自発的に学習を進めていけるようになることです。須津中学区での自主的な学びを進める『チャレンジノート』の取組みも3年目となりました。低学年のうち、家庭学習の姿勢を身に付けるために、学校から出された家庭学習をしっかりと行うことが大切です。そして、高学年になるにつれ、自分で計画した学習に取り組めるようになる力を身に付けることが必要となります。

今回の数値が低かった要因を教職員で分析し、各学年の宿題の量や内容、時間などについて見直しを行いました。家庭学習の意味を子供たちにも改めて伝えていきます。ご家庭でも、学年プラス10分の時間は机に向かって学習する習慣が身に付けられるよう意識してください。

- ・お子さんは、何か困ったときに、自分で考えて行動しようとしていますか。(84.8%)
- ・お子さんは、進んでお手伝いをしていますか。(70.7%)

総じて、「自分なりに」「進んで」という児童の主体性に関わる部分の数値が低いことが分かりました。児童の成果に「係の仕事や掃除をしっかりとやっていますか。(98%)」とあるのに対し、お手伝いの数値が低いことは意外でした。学校での姿が家庭につながる手立てを講じていきたいと思えます。

「主体性」については、児童、保護者共に共通している課題のようです。『自分で気づいて考えて行動できる』力は、生涯にわたり大切な力です。「主体性はどうしたら高まるのか」教職員で考えました。子供たちは、「自分たちで考えた！」→「考えたことができた！」→「できたから楽しい！」ときに「楽しいからもっとやりたい！」という気持ちが芽生えるのではないのでしょうか。

今年度は、『児童集会』という集会の取組を始めました。会の進行は学年当番制で、どの学年も集会を担当します。「どんなことをしたら楽しい集会になるか」いろんな学年を想定して子供が計画をし、準備して進行しています。自分たちで考えた集会を楽しんでもらった後の子供たちの顔は喜びと自信にあふれています。

今後も、子供たちの活動課程をサポートし、励まし、褒め、子供たちが意欲的に行事や学習に取り組めるよう、サポートしていきます。ご家庭でも、お子さんのことを肯定的に見守っていただき、お子さんの努力の過程を温かい言葉掛けで励ましていただけたらと思います。



【10月児童集会の様子】

(3) 記述から

貴重なご意見をいただきました。一つ一つの意見を全職員で共有しました。今後も、変更の趣旨や活動の意図などを説明し、保護者の方々の理解を得られるようにしていきたいと考えます。ご意見をいただいた中から、早速改善に取り組んでいることをご紹介します。

○子供の荷物が多いのではないのでしょうか？

現在、2年生以上がランドセルの上にリュックサックを背負って登校している状況です。タブレットの導入により、子供たちの荷物が増加し、ランドセルが重くなっていることは事実です。これまでも実技系教科については、教科書を学校に置いていってもよい、ということになっておりましたが、ノート類についても同様の対応を取り、極力持ち帰りが少なくなるようにします。ご家庭において、ノートで学習の様子が確認できない代わりに、学習の様子については毎月の学年だよりでお伝えするようしていきます。

【毎日ランドセルに入れるもの】

- ・宿題に使う持ち物（音読に使う国語の教科書・書取帳など）・ふでばこ・タブレット
- 【横断バック・リュックサックに入れるもの】
- ・月曜日…体操服・白衣・給食セット・水筒・上履き　・平日…体操服・給食セット・水筒

※子どもたちの身支度の様子を見てみると、その日に使わない教科の物まで入れて持ってきている子供が見られます。学校でも物の管理について指導していきます。ご家庭でも、必要な物のみがランドセルに入っているか、予定に応じて荷物の出し入れができているか、時折ご確認をお願いいたします。その他、寄せられたご意見を一部紹介いたします。

- 細やかに丁寧に子供たちをみていただき、ありがとうございます。
- 毎日、楽しそうに学校へ行っていてとても嬉しいです。入学式に校長先生が繋がるという話をしている、本当に繋がりが良い学校だと思います。今後ともよろしくお願いいたします。
- 須津だけでなく、学年で100人前後いる学校との交流や、大人数で校外学習に参加など、いろんな人たちと交流をもってほしいです。
- 少人数を生かした個性を活かす教育を希望します。
また、校区外からの不登校、少シケアが必要な児童の受け入れを、双方が合意した場合はもっと行ってほしいかな、と思います。在校生には多様性を知る機会となり、転入生には新たな居場所になれば良いです。
- 各学年人数が少なく、良い面もあれば、悪い面もあります。特に女子は中学進学の際、須津の子たちと合流は繊細な部分があり、正直心配です。今は理由がないと学区外の学校へ通うことが出来ませんが、本人の選択で決めることが出来るようになったらいいなと思います。
- 須津小との交流は、他校を知る機会にはなるが、規模の違いから東小の子どもたちが須津小の子どもたちに合わせるという感じを受ける。
- 人数が少ないからという理由は仕方がないが、合同で行事を行うならば、両校の児童が活躍できるように計画してほしいです。
- 地域の人に、いまの東小の良さを知ってもらえる機会が必要。
- 地域の人を呼んで、昔の浮島地区や東小のあるある、魅力を語る会。子どもたちにも興味深く、他地域の人にも改めて東小の良さを思い出してもらえる機会になるのでは。

他校との交流について、成果に挙げたように、よい取組だと感じていく中で、交流の内容や方法について、ご意見を多数いただきました。どの交流においても、交流を通して身に付けたい力（目標）を児童と教職員が共通理解し、それを達成できるよう、活動を進めていきます。行事においても、少数派となる東小の児童も活躍できる機会が得られるよう、事前に須津小との打合せを行っていくことを今後も引き続き大切にしていきます。

また、日常生活においては、少人数ならではのきめ細かい支援ができるよう今度も努力します。お子さんのことでお悩みのこと、学校への依頼などありましたら、いつでもお知らせください。全職員で共通理解し、家庭と共にお子さんのことを考えていきたいと思えます。